

幸手の農業を支える



幸手の農業のこれからを担う人たち

▼農業の楽しさは？

手をかければかけただけ育ってくれるけど、毎年同じでも、うまくいかない。常に試行錯誤しながらできることがとても楽しいです。

▼農業の理想は？

農業者の高齢化が進み、水路清掃に出てくれる人が少なくなっています。おいしい作物を食べるための大切な作業なので、みんなで取り組めるような社会になるといいです。

▼みなさんに伝えたいことは？

いろいろな野菜が簡単に手に入りますが、食べる前に「この野菜はどっやあって栽培するんだろっ？」など考えてみてください。野菜に思い入れができ、それがおいしさの調味料の一つになります。



添田 香菜さん
(野菜・ハーブ)



植竹 一寿さん
(米作)

▼農業の楽しさは？

やっぱり収穫が一番の楽しみです。すが、それに向けていろいろ頭をひねって、多くの人の力を借りながら作ることも楽しいです。

▼大変なことは？

条件(天候、肥料、風など)によっていろいろなことが起こるのが大変かな。肥料も、いいと言われて使ってもうまくいかなくて、その原因が肥料なのかそのほかの要素なのか…。困ったときは周りの仲間相談します。

▼みなさんに伝えたいことは？

情熱をもって、こだわって作物を作っています。そこを少しでも感じてお米を食べてもらえたらうれしいです。



おいしいお米を食べたい！ならば…

地域のみなさんで田んぼを

守っていきましょ

多面的機能支払交付金について

おいしいお米を作るためには、田んぼや水路がきれいに維持されていることが大切です。

地域のみなさんが協力して水路の草刈りや泥上げなどの活動をするのは環境を守るだけでなく、地域の輪を作ることもつながります。

市内8つの地域ではこのような共同活動に取り組んでいます。



▲広大な幸手の田んぼ



▲伝統行事の辻縄

上宇和田地区では、7月に水路の草刈り、2月に水路の泥上げを実施しており、水路と田んぼをきれいにしています。あわせて、地域の伝統行事の辻縄やレンゲソウの播種による景観形成に取り組み、地域の保全に対する意識を高めています。

多面的機能支払 交付金とは

水路の草刈りや泥上げなどに取り組み共同活動を支援するものです。

▼対象となる農用地

農業振興地域内の農用地

▼交付金額

- 田10aあたり3000円
- 畑10aあたり2000円

かけがえのない 幸手の田んぼ

毎日のように食べているお米、そのお米を作っている田んぼは、幸手市の面積の4割を占めています。

田んぼには「食料を生産する」だけでなく、夏の暑さを和らげる、洪水を防ぐ、生き物の住みかとなる、人々の心に安らぎを与えるなどの利点があり、暮らしに欠かすことのできない存在となっています。

みなさんも幸手のお米を食べて、田んぼを守ってみませんか。

▼農業委員(14人)

役職	氏名	住所(字)
会長	船川 由孝	神扇
会長代理	鈴木 栄	北二丁目
委員	矢島 清春	千塚
委員	江森 正之	上高野
委員	野村美左緒	権現堂
委員	田中 吉雄	木立
委員	倉持 昭夫	惣新田
委員	山中 栄	上宇和田
委員	大澤 年一	西関宿
委員	熊谷 隆夫	天神島
委員	増田 隆司	天神島

役職	氏名	住所(字)
委員	奥貴 進	平須賀一丁目
委員	増田 福重	神扇
委員	松島 政雄	長間

▼農地利用最適化推進委員(6人)

担当地域	氏名	住所(字)
幸手	岡 政美	下川崎
行幸	関根 俊男	千塚
上高野	梅山 友行	上高野
権現堂	石関 功	北三丁目
吉田	小池 昭三	惣新田
八代	小川 肇	戸島

農地のことは農業委員・農地利用最適化推進委員にご相談ください

【相談例】

- ・農地の貸し借りに関すること
- ・農地利用の最適化に関すること
- ・農地全般に関すること

旬の農産物のお求めは さくらファームへ

「さくらファーム(幸手市大字内国府間67-1)」では、幸手産のお米・野菜などを中心に通年営業(毎週水曜定休)し、新鮮な農産物をお求めいただくことができます。ぜひお立ち寄りください。

